



介護相談員バッヂ

富山市

# 介護相談員だより

第21号

2020. 03. 20 富山市介護相談員 富山市新桜町7-38 富山市介護保険課内 TEL443-2206

## 思いやりと一緒に

介護相談員 石原 朝子

介護相談員になり7年経とうとしています。施設訪問では、笑顔で元気よくを心掛け、利用者さんが出来ることが年々少なくなってくる不安や、淋しい思いに寄り添っていきたくと思っています。日頃多忙な中、笑顔で接しておられる職員さんに頭の下がる思いです。

今年の8月に東京の介護相談員の研修へ参加させていただきました。介護保険制度や認知症の人の意思決定など2日間の研修の中で、私は「転倒予防のポイントを見る目を養う」の講義にちょっと触れて書きます。転倒した時は、どこで、どんな時に起きたのかを検証することが大切。病気によるものか、ベットから起き上がる時の手・足の位置、滑りやすいものはないかなど細かくその人に合わせてチェックする。転ぶから立たせない、歩かせないという見守りは見張りでしかない。家族と共に、利用者さんにとって暮らしやすさはとは何かを考える。基本的なことなのですが重要なことだと思いました。

先日訪問した特養では、食事は、車椅子から食堂の椅子に座りなおして食事されていました。「車椅子は移動の手段なので」とおっしゃった言葉にあったかい思いやりを感じました。

いつまでも利用者さんが安心して楽しく暮らしていただけるように、職員の方と一緒に笑顔で参加させていただきたいと思います。

## 笑顔をありがとう

介護相談員 山田 正二

1年前にささやかな志を持って、富山市の介護相談員に応募しました。施設訪問で利用者・家族の方、職員の方、介護相談員の先輩たちの気遣い、言動から多くのことを学びレベルアップに努めています。

未熟さを自覚し、職員の方には感謝とねぎらい、利用者の方には尊敬の念をもち笑顔だけは誰にも負けないように接することを心がけています。

介護現場で、笑顔で話しかけ、寄り添い、いたわりながら食事、歩行などの介助をしている若い職員の方またその動きを他の仕事をしながら優しく見守るベテラン方、利用者がより快適に、穏やかに過ごせるように気遣い、工夫をしている姿を見せていただき、ほほえましくかつ頼もしく感じました。

ご家族の不安、利用者の寂しさも傾聴させていただきました。じっくり聞くことと、励ますことしかできませんでしたが、最後に「話を聞いてもらい、気が楽になった」の言葉をいただき救われたような気になりました。「職員の笑顔なくして、利用者・家族の笑顔なし!」短期間ではありますが、利用者の方に、より快適・穏やかに過ごしていただくには職員の方の笑顔が欠かせません。引き続き、職員の方がより働きやすく長く勤められる施策、職場づくりが重要と感じました。



# 施設職員と介護相談員の意見交換会



開催日：令和元年11月5日（火） 会場：市役所大会議室 参加者：施設職員47名 介護相談員22名

## 活動発表



特別養護老人ホームささづ苑  
生活相談員 荒井 康徳氏

### 看取りケアを地域とともに考える

特別養護老人ホーム ささづ苑 生活相談員 荒井 康徳氏  
大西 敦子氏

看取りのケアでは、ご家族と嘱託医、看護師、介護職員、管理栄養士、生活相談員、施設ケアマネなどのスタッフで医療や看取りのカンファレンスを行い、現状報告を行い、ご家族のご意向を確認したり、今後考えられる状況説明を行ったりしながらケア方針を説明し、確認を行います。

看取り介護委員会では、講義や実技の研修や、クリニカルパスやエンゼルケアマニュアルの作成、見直し、周知を行っています。

看取りケアを地域と共に考えようと、令和元年10月13日、ご家族と地域の皆さんとの交流会「なごみ」を開催しました。「住み慣れた地域で最期まで～again in place～」と題し、ものがたり診療所長 佐藤伸彦先生に公開講座として講演していただきました。誰もが人を看取ることへの不安を抱えている現状で、地域の方々の看取ることの不安の解消や看取りの考え方を知ることのお手伝い、さらに、お互いが満足した最期を迎えられるような支援につなげたいと考えています。

## 意見交換

### テーマ「人・地域とのつながりを介護の力につなげよう」

#### 悩んでいること・困っていること

地域交流のための講習会を開催したが人が集まらなかった。

人手不足、行事の縮小等地域とのつながりをどうしていけばよいか悩んでいる

施設を知ってもらうために広報紙を配布しているが、どこまですればよいのか

施設として運動会などの地域行事に積極的に参加している。

#### 工夫していること

公民館に出向いたり、敬老会や獅子舞の時に交流したりしている。散歩の時に地域と交流している。

介護教室や避難訓練、認知症カフェなど月1回、地域の方が集える場所を開いている。

長寿会のイベントや資源回収の参加、14歳の挑戦の受け入れ等が、施設や介護を知ってもらうきっかけになればよい。

施設職員

小学校の地域での学習の一環に組み込んでもらう工夫や、納涼祭のボランティアに中学生を誘うことなどを企画する。



# 施設で見つけた・HOTひとと息

## 特別養護老人ホーム 梨雲苑

ボランティアさん大活躍



おいしいコーヒーいかがですか？

## 老人保健施設 アメニティ月岡

手づくりおやつの日

「パティシエの修行中ア〜す」



おいしそう月

ケーキの出来上がり

何するがにしても『遅すぎる』  
ということないちゃよ！



## グループホーム しおんの家・望

ちょっとそこまで



いっしょにせんまいけ

暖かな日はいつも  
散歩しています  
今日も陽気に誘われ  
海までお出かけ！



地域の方も大勢集まって恒例のお祭り  
有志の演奏やゲームなど楽しみました

## グループホーム 水橋の家

ご家族も交えて、  
具たくさんのおいしい  
鍋が出来上がりました

芋煮会



ご馳走を前に  
大好きなビールを一杯！



## 施設紹介

老人保健施設

### 富山老人保健施設

皆様こんにちは！富山老人保健施設です。当施設は年間100以上のイベント行事を行い、それらは外での実施を基本としています。

春、中庭の桜の蕾が膨らみ始めた頃より、外での活動が本格始動です。レクリエーションや散歩は勿論、昼食を外で食べる「青空ランチ」で気分上々♪

夏、ご利用者が日々健康的な肌色になる一方、職員は美白を守ることに必死…。恒例行事「流しそうめん」では、われ先にと手を伸ばすご利用者の姿に生きる力を感じます。秋、瓢箪や糸瓜の棚に大量のパンを吊り下げての「パン食い競争」狙ったパンに向かうご利用者の目の輝きはピカイチ！いつもより歩行は安定し、車椅子の進みも速い！！リハビリの成果以上の力が発揮されるので驚きです。一緒に参加される地域の方々も思わず笑顔で歓声を送ります。このように四季を通して行う多くの活動の様子は施設内に写真掲示しています。気になる方はぜひ当施設へお問い合わせの上、足をお運びくださいね。

#### ●介護相談員からのコメント

イベントが多いので、介護相談員も毎回の訪問が楽しみです。



### 編集後記

令和初の介護相談員だよりとなりました。訪問先では、令和は生まれて4つめの年号となるご長寿の皆様から貴重なお話を伺う機会をいただいています。感謝。これからもお元気で。そして新しい令和の時代が平和でありますように。

発行にあたっては多くの皆様のご協力をいただきました。お礼申し上げます。

〈編集委員／山本・中村・佐々木〉